

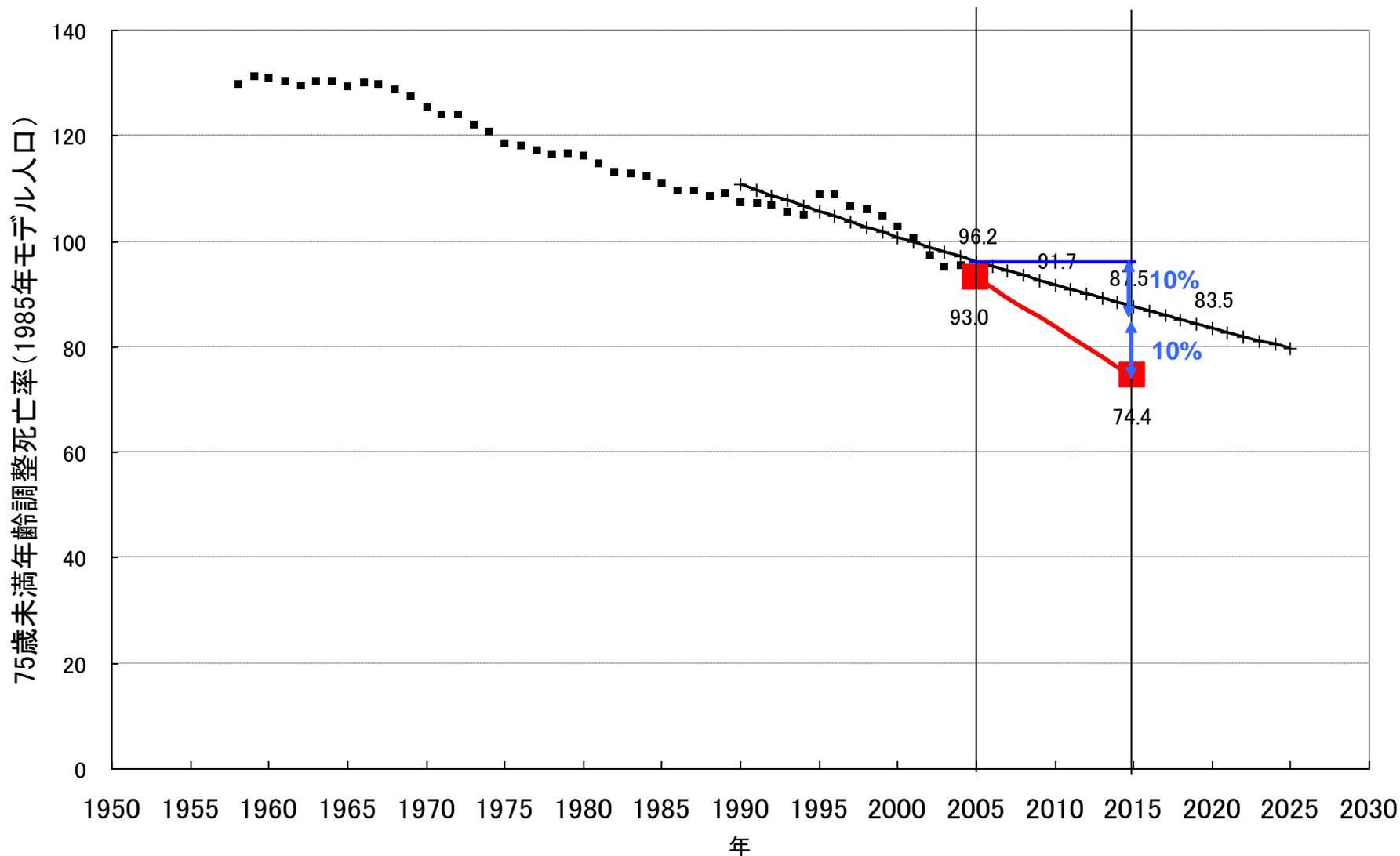
山梨県がん対策全体目標

75歳未満

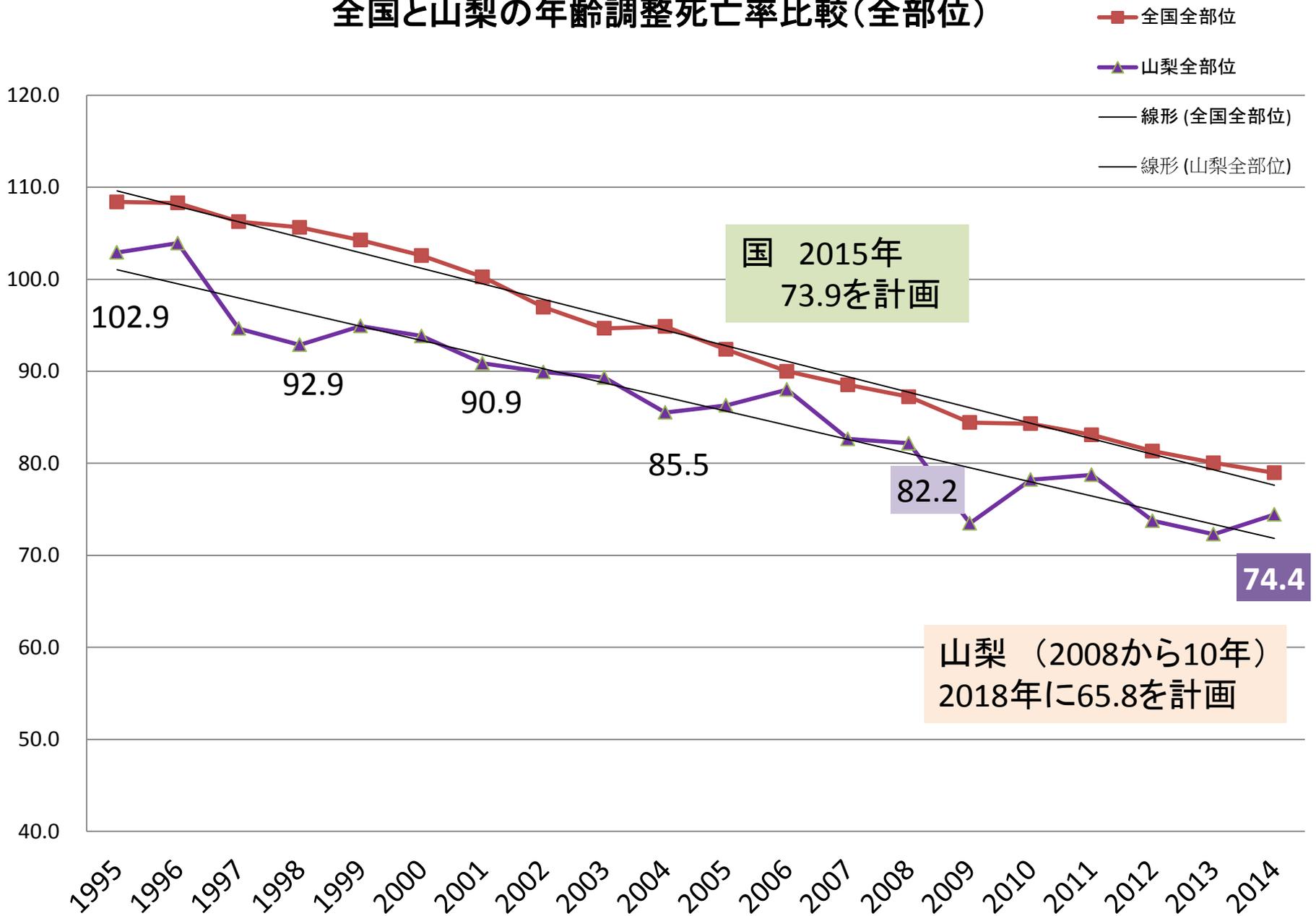
年齢調整死亡率

2008年から10年で20%減少

図1 対数線形回帰による年齢調整死亡率の予測
 (1990年から2005年のデータを使用) 男女計 75歳未満

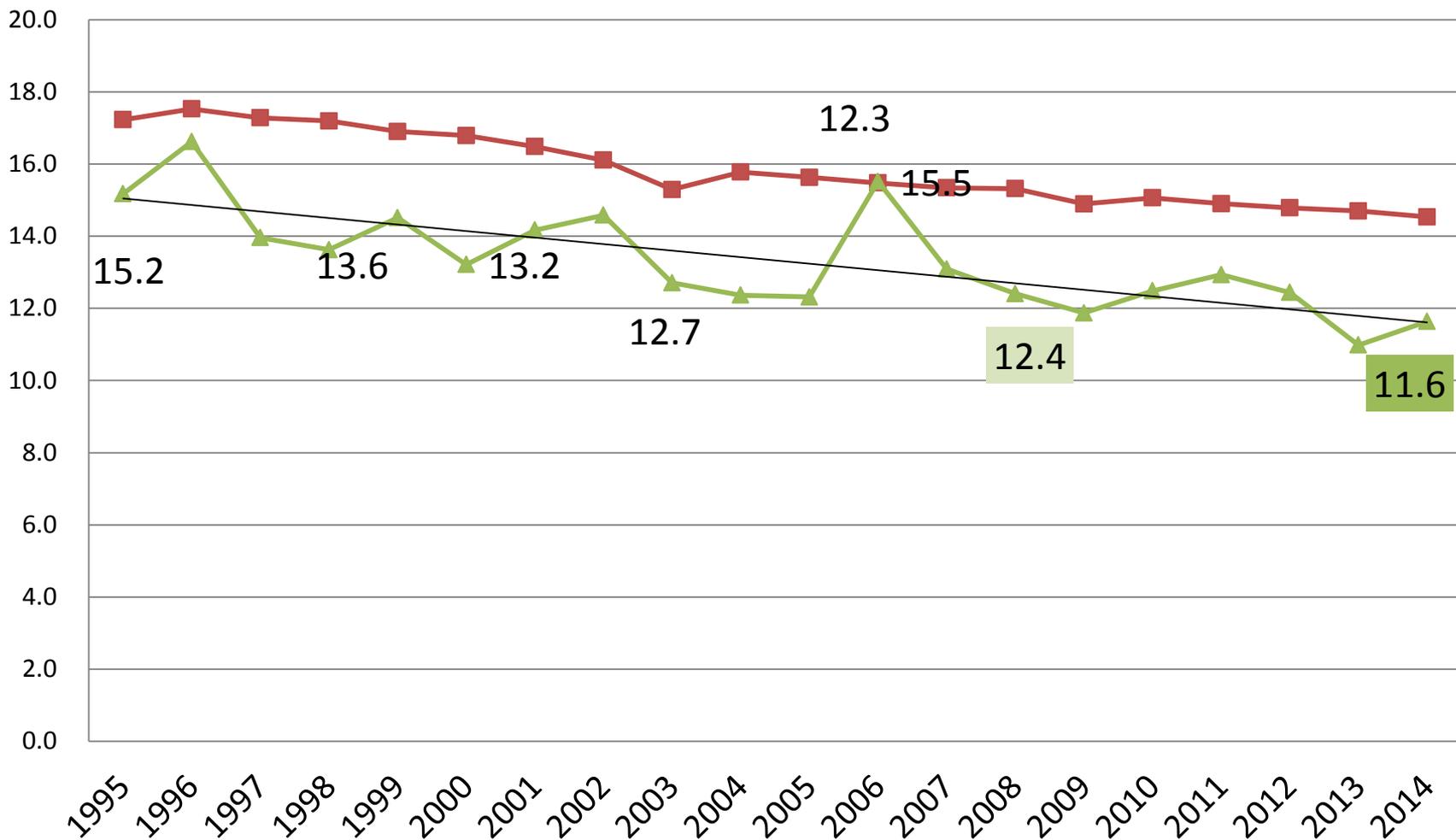


全国と山梨の年齢調整死亡率比較(全部位)



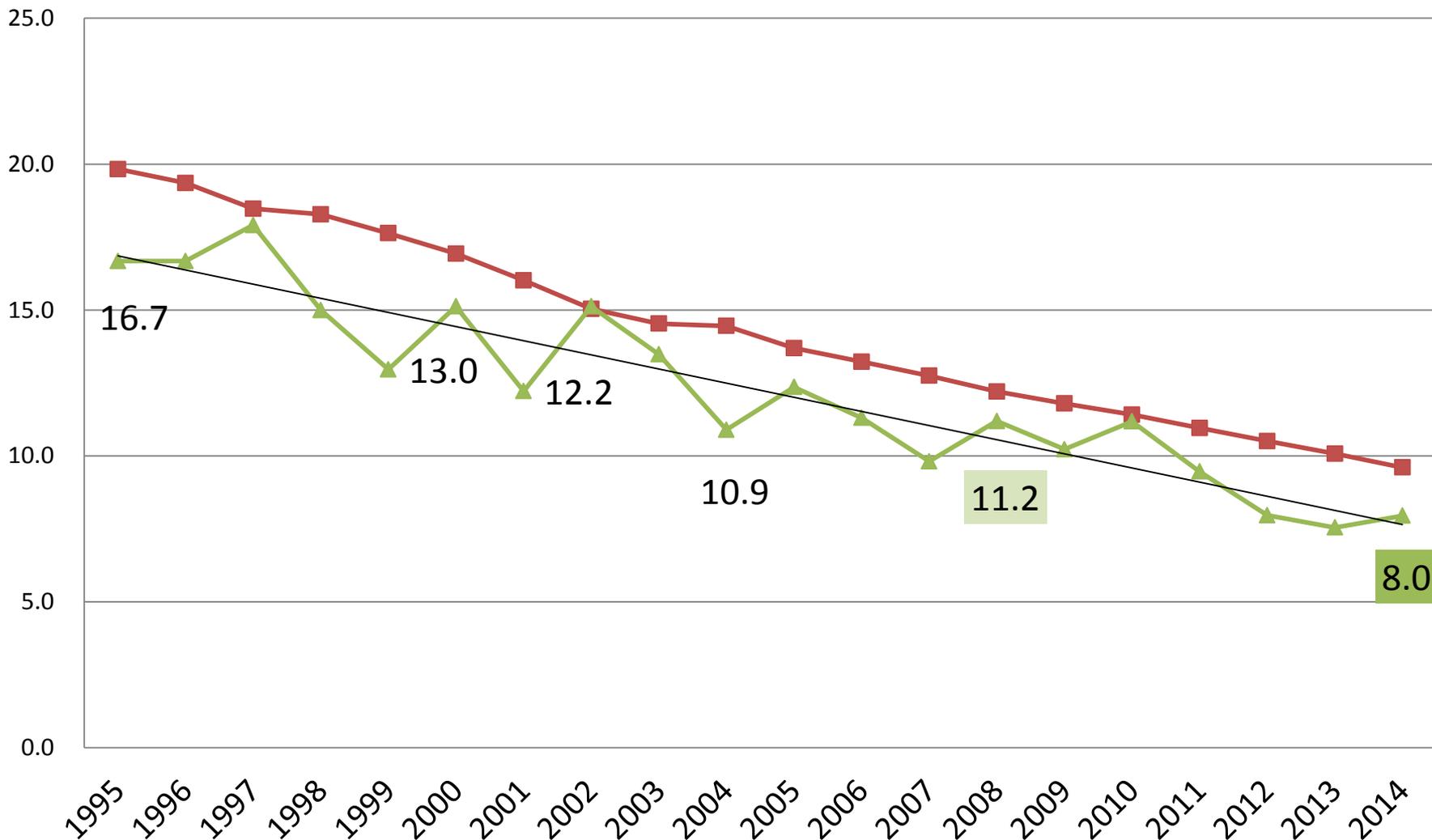
肺 比較

- 全国気管、気管支及び肺
- ▲ 山梨気管、気管支及び肺
- 線形 (山梨気管、気管支及び肺)



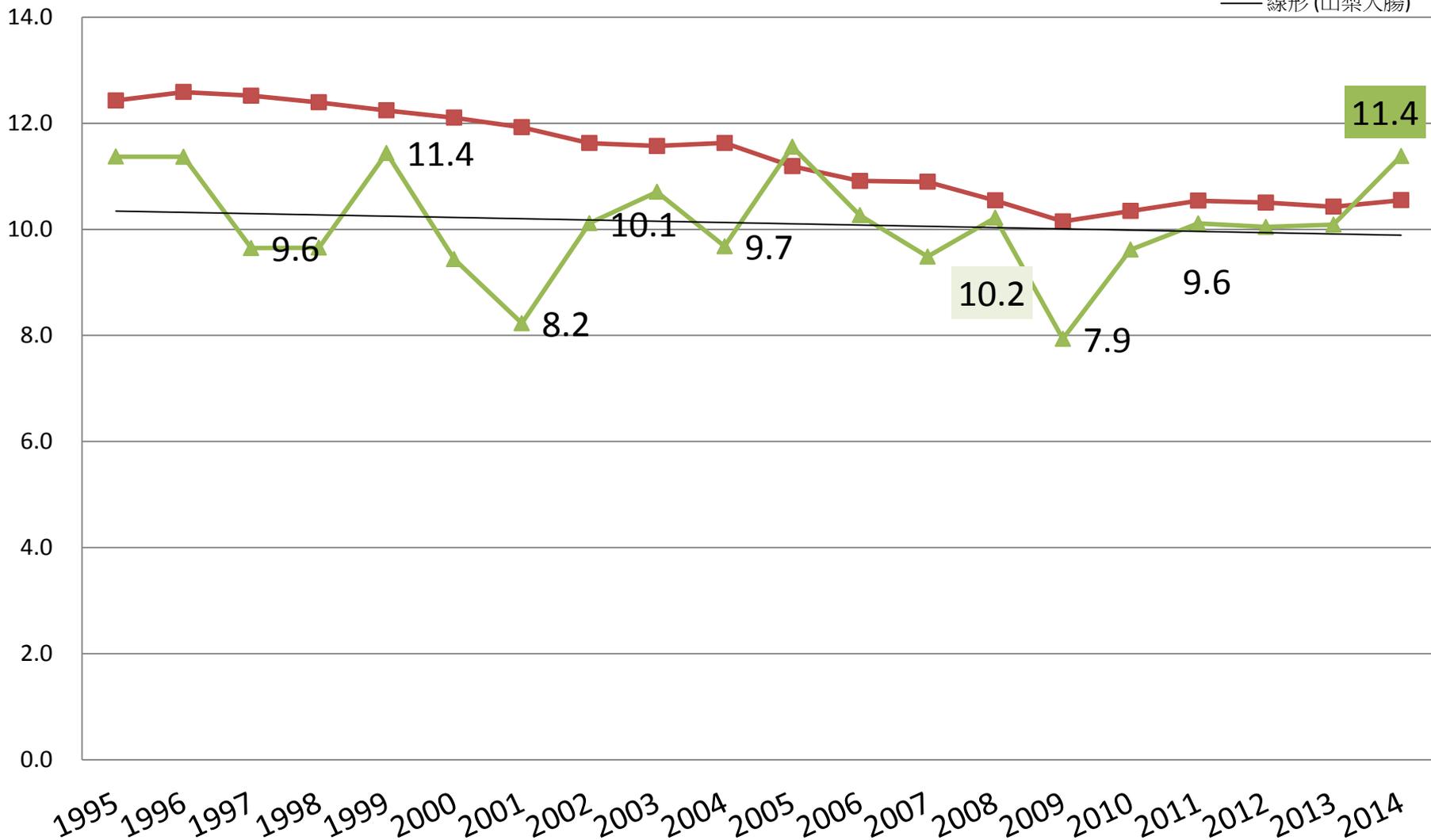
胃 比較

- 全国胃
- ▲ 山梨胃
- 線形 (山梨胃)



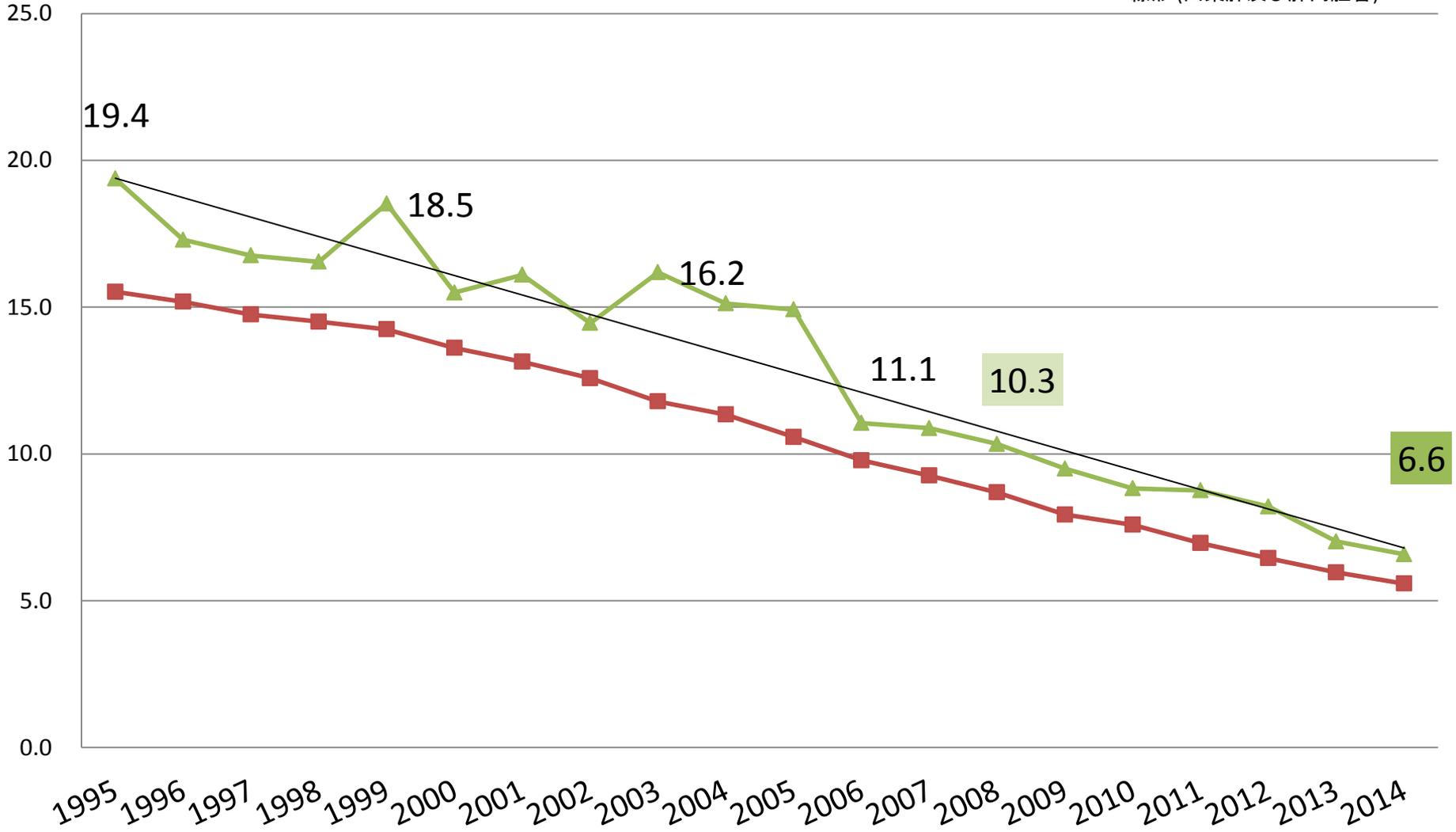
大腸 比較

- 全国大腸
- ▲ 山梨大腸
- 線形 (山梨大腸)



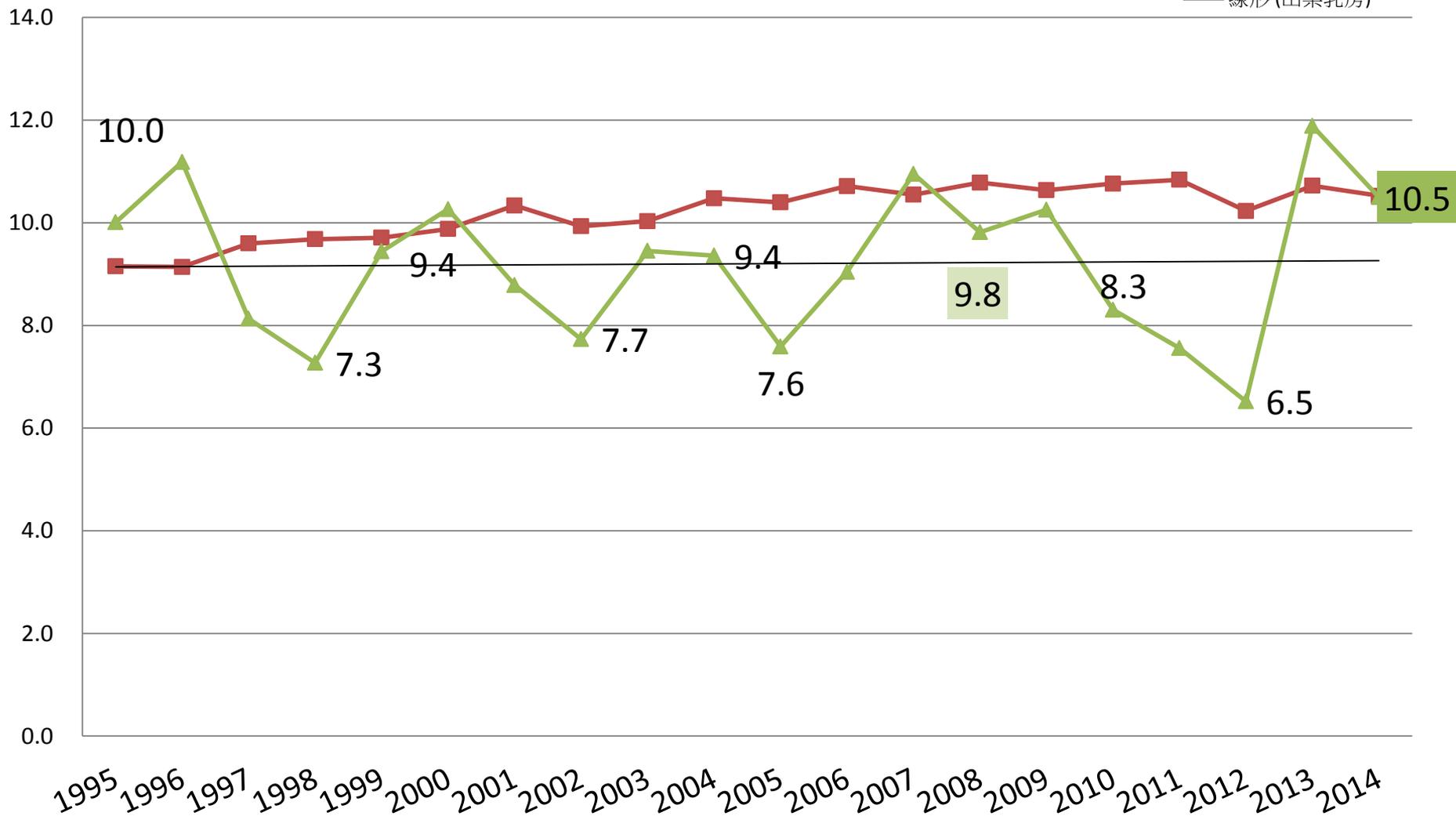
胆管・肝 比較

- 全国肝及び肝内胆管
- ▲ 山梨肝及び肝内胆管
- 線形 (山梨肝及び肝内胆管)



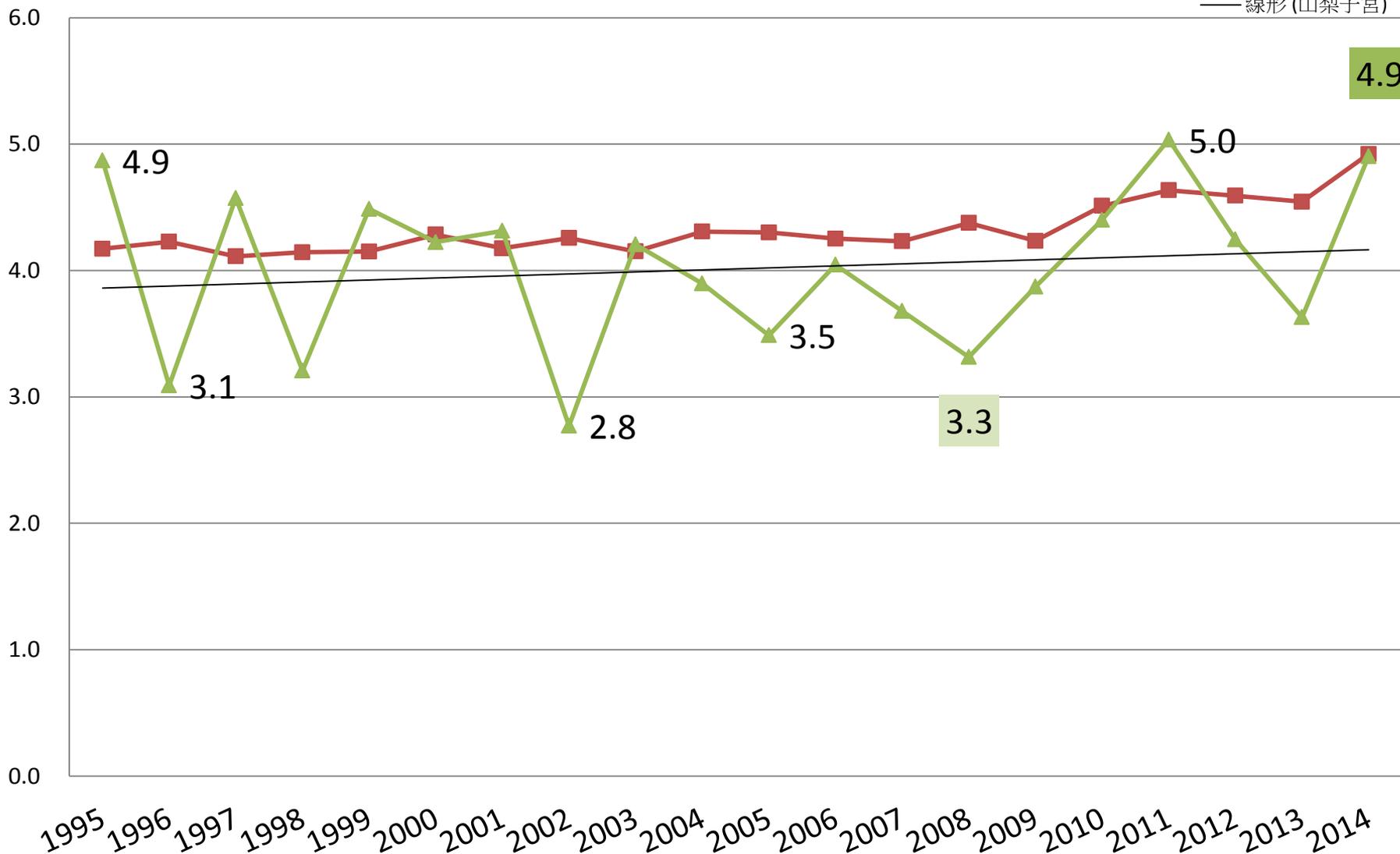
乳 比較

- 全国乳房
- ▲ 山梨乳房
- 線形(山梨乳房)



子宮 比較

- 全国子宮
- ▲ 山梨子宮
- 線形(山梨子宮)



個人的考察

- がん年齢調整死亡率の全国平均との差が小さくなっている
- 肝臓がんに対する施策の効果が出ている
- 大腸がん、乳がん、子宮頸がんに対する効果的施策の充実が望まれる
- 山梨県がん対策推進条例に基づき、治療効果を高めるためにも早期発見の推進が重要
- 山梨県がん対策推進条例に基づき、女性に特有のがん対策の推進が重要